

# 平成30年度 事業報告書

大慈学童クラブ

## 1. <基本方針>

- ①児童福祉法の理念及び法人の設立精神である「和顔愛語・上敬下愛」に基づき児童の人権を尊重する
- ②共同で行動することを通して、生活習慣、人間関係、思いやり等が身につくように援助する

## 2. <大慈学童クラブにおける中長期ヴィジョン>

地域福祉の一環として、地域のニーズに応え、利用者が安心して利用出来るサービスを提供する。また各利用者が集団生活を通し、思いやりの心と考える力を育める様、努める

## 3. <目標>

- ①利用者のニーズを把握し、ニーズに沿ったサービスを提供する。

延長保育の受け入れ、長期休みの行事の充実、昼食提供等、利用者のニーズに沿ったサービスを提供した。

- ②リスクマネジメントに基づき、リスクの軽減を図る。

グループワーク等、外に出る行事では事前に下見へ行き、危険箇所がないか等を調べた。また、事故が起こった際の対応も職員間で話し合い、対応出来る様に準備をした。

- ③職員の資質の向上。

保育や保護者対応等、全職員が同じ対応出来る様に、会議の場だけではなく、日頃より職員間で話し合う場を持ち、価値観の共有化に努めた。

## 4. <利用人数>

初日在籍数(人)

学年 月	1年	2年	3年	合計	学年 月	1年	2年	3年	合計
4	13	12	12	37	10	13	13	10	36
5	13	12	12	37	11	13	11	10	34
6	13	13	12	38	12	13	11	10	34
7	13	13	12	38	1	13	11	9	33
8	13	13	12	38	2	13	11	9	33
9	13	13	10	36	3	13	11	9	33

## 5. <広報>

保護者、各区役所、神戸市役所こども企画育成部に、学童新聞を発行した。新聞の内容に生活情報や豆知識等、暮らしに役立つものを加え、内容の充実を図った

6. 《行事内容》

月	日	行 事	月	日	行 事
4	9	昼食会	9	3	昼食会
	10	花見		15	昼食会
	12	昼食会		25	のびっ慈 day (スライム作り)
	14	のびっ慈 day (オリジナルパズル)			
5	12	昼食会	10	13	昼食会
	22	のびっ慈 day (トッチボール)		19	のびっ慈 day (ミニ運動会)
	26	昼食会		20	昼食会
6	4	グループワーク (須磨海浜水族園)	11	5	グループワーク (青少年科学館)
	9	昼食会		9	のびっ慈 day (やじろべい作り)
	18	グループワーク (青少年科学館) ※地震の為、中止		10	昼食会
	23	昼食会		17	昼食会
	26	のびっ慈 day (マグネット作り)			
7	2~7	個別懇談会 (希望者対象)	12	3~8	個別懇談会 (希望者対象)
	20	昼食会		8	昼食会
	24	昼食会		21	のびっ慈 day (クリスマスリース作り)
	25	昼食会		25	クリスマス会
	27	のびっ慈 day (靴、シャベット作り)		26	昼食会
	28	スけ割り			
30	水遊び				
8	1	昼食会	1	7	もちつき
	2	交通安全教室		19	昼食会
	6	映画会 (文化ホール)	2	25	のびっ慈 day (鬼の面作り)
	7	水遊び		1	節分 (豆まき)
	8	昼食会	9	9	昼食会
	9	水の科学博物館 ※熱中症の危険があった為、中止		15	のびっ慈 day (デコチョコ作り)
	10	学童ボランティア (昔遊び)	26	26	昼食会
	16	昼食会		3	1
	17	昼食会	20		昼食会
		運動遊び (中央体育館)	22		お別れ会
	18	のびっ慈 day (ゼリー、カード作り)	25		昼食会
	20	昼食会	27		昼食会
	21	水遊び	26		のびっ慈 day (ピクニック:メケンパーク)
	22	昼食会、学童ボランティア (マジックショー)			
	23	地藏盆			
	24	昼食会、学童ボランティア (フェルト遊び)			
	27	のびっ慈 day (ヨーグルト、風鈴作り)			
	28	水遊び			
	29	昼食会			
		東川崎自治会 (映画会招待)			
	30	昼食会			
31	屋台村				

7. 《保健衛生》

- ・エアコンのクリーニング、廊下清掃を業者に依頼し、実施した。
- ・毎日（日、祝日、年末年始は除く）、床のモップがけを行った。
- ・毎週金曜日（祝日、年末年始除く）、大掃除を行った。
- ・害虫駆除を行った。

8. 《消防避難訓練》

- ・4～6月、8～9月、11月、1～3月、実施。  
（上記の月以外は夜間想定の実施を行った為、学童では実施せず）
- ・11月（地震訓練→津波を想定し、大倉山公園まで避難）を同時に実施した。
- ・不審者訓練は夜間想定の実施を行った為、学童では実施せず。

9. 《会議》

学童委員会（月1回）

→学童委員長を中心に保護者への対応、特別に配慮が必要な児童、環境面の事、行事の内容等を議題に挙げ、話し合いをした。

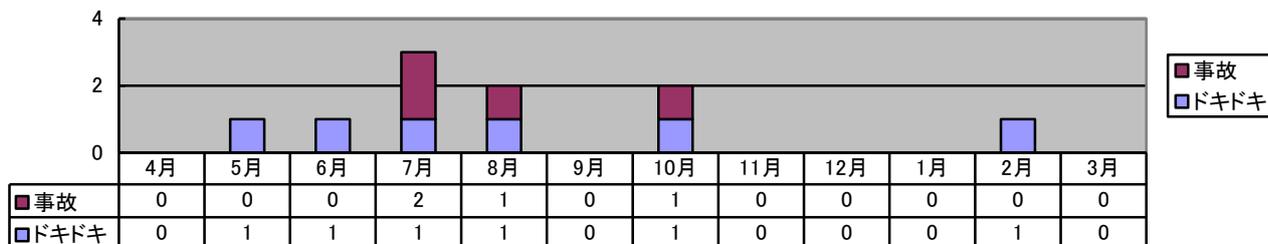
10. 《地域貢献》

- ・延長保育の時間外受け入れ（19時～21時）  
→40件、保護者より要望があり、預かりを行った。今後も利用者のニーズとしてある為、実施していきたい。

11. 《リスクマネジメント報告》

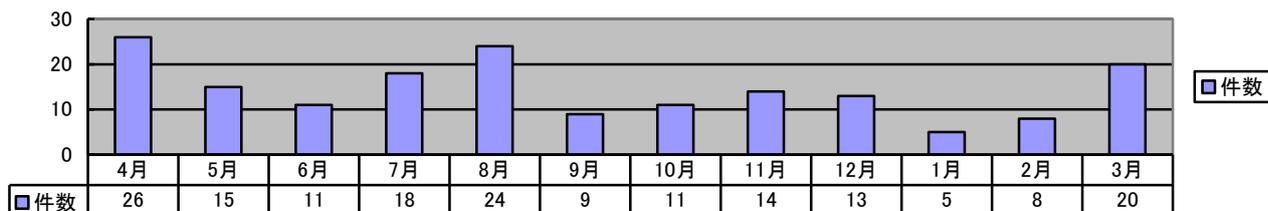
①30年度ヒヤリハット報告件数・・・6件（29年度11件）

ヒヤリ報告(件数)



②30年度ヒヤリハット以外のケガ報告件数（ケガノート）・・・174件（29年度221件）

ケガ報告(件数)

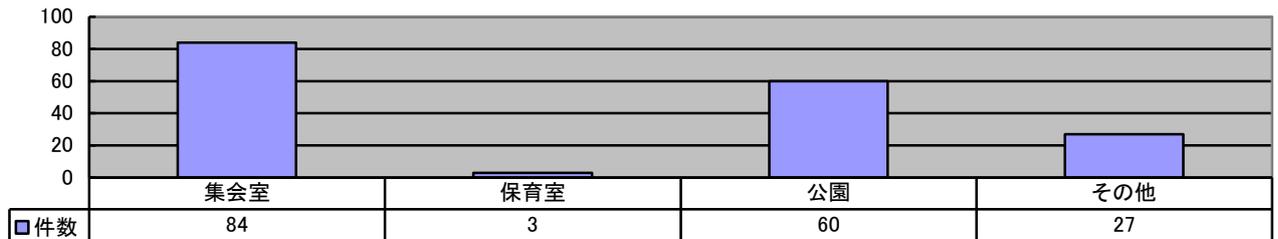


### ③発生場所

ヒヤリ報告(場所)

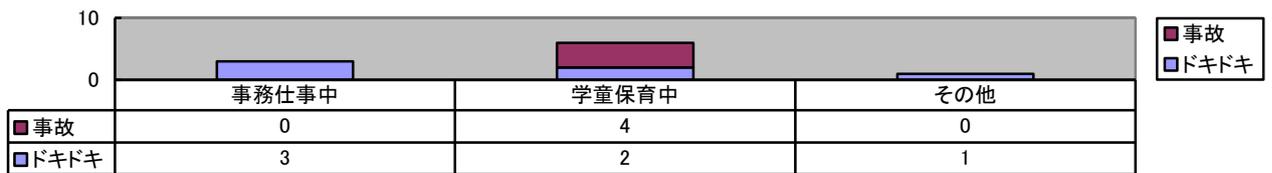


ケガ報告(場所)

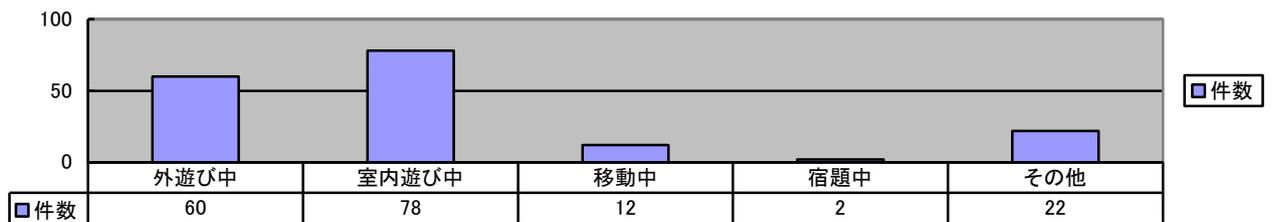


### ④発生状況

ヒヤリ報告(状況)

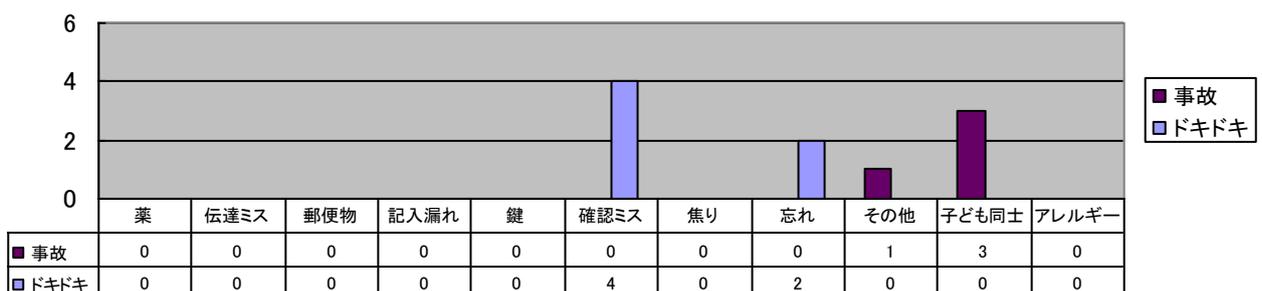


ケガ報告(状況)

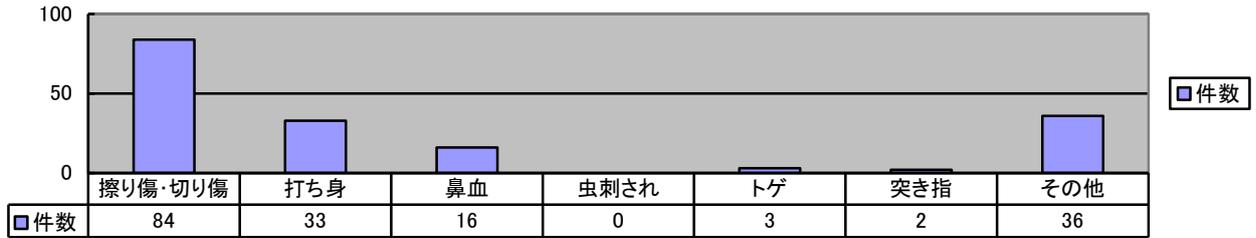


### ⑤発生内容

ヒヤリ報告(内容)

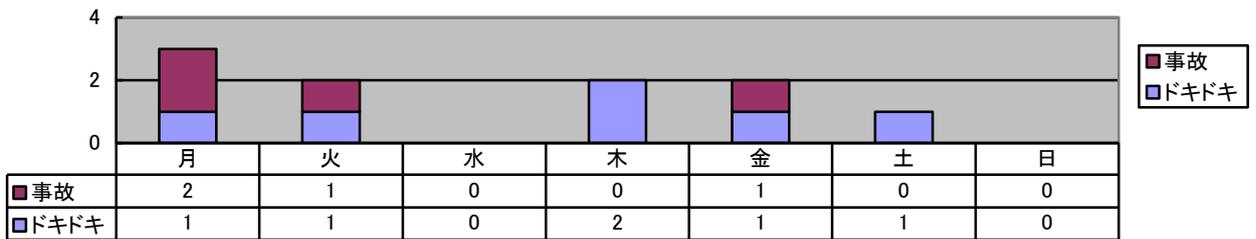


ケガ報告(内容)



⑥発生曜日

ヒヤリ報告(曜日)



⑦発生時間帯

ヒヤリ報告(時間)



⑧まとめ

ヒヤリ→ 日曜日は開所していない為、件数はゼロだった。時間帯別では長期休み以外、13～17時にかけて多くの児童が利用する為、件数が多い。内容としては児童への対応(送り出し)が多く、確認ミスが原因として考えられる。職員同士声掛けする事で防げるミスもあった為、お互いに意識し、確認する様にした。

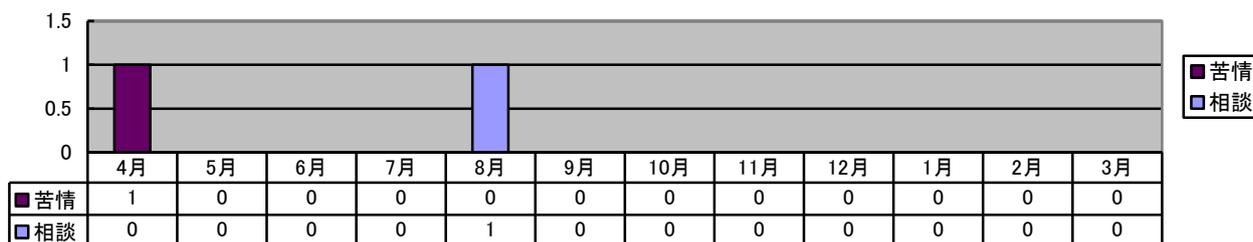
事故→ 児童同士によるケガ、外遊び中に遊具から落ちる、転ぶ、という内容だった。事故が起こった際は病院への受診と保護者対応が迅速に出来る様、務めた。

ケガ報告→ 前年度より件数は減っているが、遊び中に転んだり等の不慮の怪我が殆どである。子どもたち同士による怪我也多い為、会議等を通し、外遊びだけでなく、保育する上で、安全に過ごせる様、配慮し、保育する様にした。

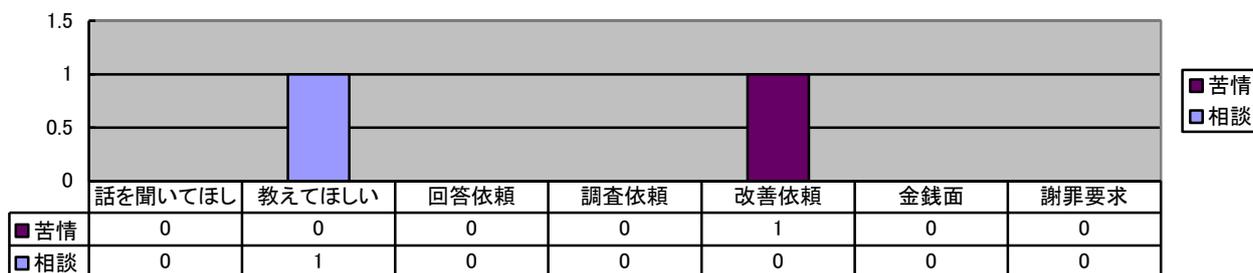
1 2. 《苦情・相談結果報告》 苦情の定義→施設長が状況を見て、苦情か相談かを判断する。

○報告件数…苦情1件、相談1件

苦情・相談報告(件数)



苦情・相談報告(要望)



○主な内容

相談→学童での他児との関係

苦情→学童での他児との関係

○まとめ

苦情は新1年生同士のトラブルによるものだったが、4月に起こった事であり、特に配慮をする必要があった。トラブルの際の対応など、その都度解決する為にも、職員が把握出来ていないという事がない様に、常に目を配り保育する様、会議を通し周知した。

1 3. 《総括》

ニーズが多様化する中、地域の子育て支援として安心して利用してもらえる様、保育、保護者対応には職員の資質を向上し、努めていきたい。また、31年度は、小学校に新しく学童コーナーができ、利用者も減少する為、当学童クラブを希望する利用者によってどのようなニーズがあるのかを把握し、サービスの充実を図っていきたい。